

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公開番号】特開 2019-96391 (P2019-96391A)

【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報 2019-023

【出願番号】特願 2017-222131 (P2017-222131)

【国際特許分類】

H 0 1 M 2/02 (2006.01)

H 0 1 M 2/12 (2006.01)

H 0 1 M 10/04 (2006.01)

H 0 1 G 11/00 (2013.01)

H 0 1 G 11/78 (2013.01)

H 0 1 G 11/14 (2013.01)

H 0 1 G 11/84 (2013.01)

【F I】

H 0 1 M 2/02 A

H 0 1 M 2/12 1 0 1

H 0 1 M 10/04 Z

H 0 1 G 11/00

H 0 1 G 11/78

H 0 1 G 11/14

H 0 1 G 11/84

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 4 日 (2020.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電極板の一方面に正極活物質が設けられた正極終端電極と、電極板の他方面に負極活物質が設けられた負極終端電極と、前記正極終端電極と前記負極終端電極との間に設けられ、電極板の一方面に正極活物質が設けられると共に他方面に負極活物質層が設けられた複数のバイポーラ電極と、が積層されてなる積層体と、

前記正極終端電極、前記負極終端電極、及び前記複数のバイポーラ電極の各々の前記電極板の縁部に設けられ、前記電極板の端部から張り出す張出部分をそれぞれ有する複数の第 1 樹脂部と、前記積層体の最外層に位置する前記第 1 樹脂部の前記張出部分の積層方向における外側面に設けられ、前記複数の第 1 樹脂部と前記積層方向に連続する拡張部と、を有する枠体と、

前記枠体に接合される接合面を有する圧力調整弁と、  
を備え、

前記第 1 樹脂部には、前記積層方向に隣り合う前記バイポーラ電極間の内部空間と連通した連通路が形成されており、

前記接合面には、前記連通路に対応する開口が設けられている、  
蓄電モジュール。

【請求項 2】

前記積層方向から見て前記第 1 樹脂部の周囲に形成された第 2 樹脂部を更に備え、  
前記拡張部は、前記第 2 樹脂部の一部によって形成されている、  
請求項 1 に記載の蓄電モジュール。

【請求項 3】

前記拡張部の前記積層方向における外側面の少なくとも一部は、前記第 2 樹脂部に覆われている、

請求項 2 に記載の蓄電モジュール。

【請求項 4】

電極板の一方面に正極活物質が設けられた正極終端電極と、電極板の他方面に負極活物質が設けられた負極終端電極と、前記正極終端電極と前記負極終端電極との間に設けられ、電極板の一方面に正極活物質が設けられると共に他方面に負極活物質層が設けられた複数のパイボラ電極と、が積層されてなる積層体と、前記正極終端電極、前記負極終端電極、及び前記複数のパイボラ電極の各々の前記電極板の縁部に設けられ、前記電極板の端部から張り出す張出部分をそれぞれ有する複数の第 1 樹脂部と、を準備する工程と、

型枠内に樹脂材料を流通させる射出成形によって、前記積層体の積層方向から見て前記第 1 樹脂部の周囲に第 2 樹脂部を形成する工程と、

前記積層体の側面に圧力調整弁を接合する工程と、  
を含み、

前記第 2 樹脂部は、前記積層体の最外層に位置する前記第 1 樹脂部の前記張出部分の前記積層方向における外側面に設けられ、前記複数の第 1 樹脂部と前記積層方向に連続する拡張部を有し、

前記第 1 樹脂部には、前記積層方向に隣り合う前記パイボラ電極間の内部空間と連通した連通路が形成されており、

前記圧力調整弁の接合面には、前記連通路に対応する開口が設けられており、

前記圧力調整弁を接合する工程においては、前記連通路と前記接合面に設けられた開口とが連通するように、前記圧力調整弁を前記積層体の側面に接合する、  
蓄電モジュールの製造方法。